

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人『欧州における廃止措置と解体物のクリアランス再利用調査団』
派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

昨今のエネルギー価格の高騰と、電力不足に対する懸念やカーボンニュートラルなどの観点から、日本では東日本大震災以来の「原子力＝NO」という流れにも、変化が起きつつあります。

しかし原子力発電所を持続していくためには、基準を十分に満たし得ない原子力発電所を始めとする、使命を終了した原子力施設の廃止措置を、短期間で早期に実施していくことが重要です。廃止措置を迅速に行うためには、解体に伴う放射性廃棄物管理を適切に行う必要があります。

解体する原子力発電所の廃棄物のうち約93%は放射性廃棄物ではなく、ビルの解体と同様のコンクリートや鋼材です。残りは低レベル放射性廃棄物ですが、このうち適切な処理を行うことにより、約5%は通常の解体物と同様に再利用が可能なクリアランスされた廃棄物となります。また残りの約2%を、低レベル放射性廃棄物として処分することになります。

このような状況に鑑み、フランス電力公社（EDF）ご協力のもと、欧州のクリアランス処理施設と再利用及びゾーニング方式からクリアランス制度を導入したフランスの原子力発電所の廃止措置とクリアランス対応の実態について、現地調査を行います。

ご参加頂ける場合は、別紙参加申込書に必要事項をご記入頂き、参加者の名刺（和文・英文共）と、パスポートの顔写真部分のページのカラーコピーを添えて、**2024年8月8日（木）までに**、日本技術者連盟あて、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）にてお申込み下さい。

まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください。

敬具

※ お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更の可能性がございます場合にはお手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）

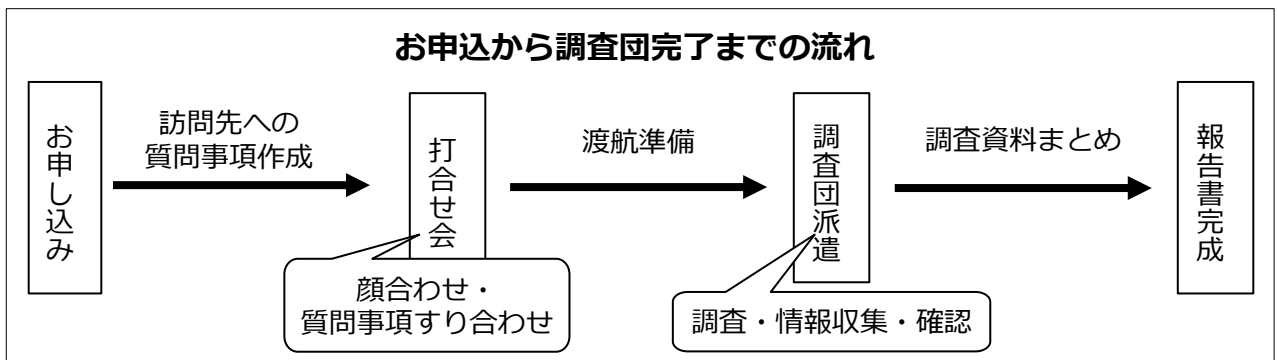
自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。

自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。

また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟
海外調査団/視察団推進センター

お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>URL: <http://www.wkx21c.org>

『欧州における廃止措置と解体物のクリアランス再利用調査団』 参加要項

1. **テーマ：** 『欧州における廃止措置と解体物のクリアランス再利用調査団』
2. **期 間：** 2024年10月5日（土）～10月13日（日）9日間
3. **主 催：** 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. **団 長：** 林道 寛 氏 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 元 バックエンド推進部門長
公益財団法人 原子力安全研究協会 研究参与
一般社団法人日本技術者連盟 理事
 「研究分野」 廃止措置技術、低レベル放射性廃棄物処理処分



■ 略歴 ■

1978年 動力炉・核燃料開発事業団 入社
1994年 動力炉開発推進本部
もんじゅ計画管理課長
1998年 (財)デコミッショニング研究協会
情報管理部次長
2003年 核燃料サイクル開発機構 経営企画本部
バックエンド推進部 次長
2005年 (独)日本原子力研究開発機構
バックエンド推進部門 副部門長
2008年 同部門 部門長
2013年 一般財団法人エネルギー総合工学研究所
特任参事
2018年 一般社団法人日本技術者連盟 理事
(現在に至る)
2021年 公益財団法人 原子力安全研究協会
研究参与(現在に至る)

■ 社会的活動・学会活動 ■

2004年-2012年 OECD/NEA 委員会、各作業部会の委員を歴任
2008年-2010年 IAEA International Decommissioning
Network (IDN) 委員
2012年-2013年 IAEA Decommissioning Technology Update
技術報告書作成メンバー
2012年- IAEA IDN Working Gr (IDN WIKI) メンバー
2012年-2014年 日本原子力学会
東電福島第一発電所事故調査委員会委員
2014年-2016年 OECD/NEA Expert Group on Fukushima Waste
Management and Decommissioning R&D
副議長
2014年-2022年 日本原子力学会 東電福島第一発電所
廃炉検討委員会委員 委員
2015年-2017年 IAEA The development of Training Course
Material on Decommissioning作成メンバー
2019年-2022年 OECD/NEA CDLM委員

5. 調査項目：（案）

（１）廃止措置や放射性廃棄物管理の実態と技術開発

- | | | | |
|-------------------------|---------------|-----------------|---------|
| ①運転後の系統除染 | ②廃止措置工程 | ③解体方法 | ④解体後の除染 |
| ⑤廃棄物処理・保管・処分 | ⑥クリアランス処理と再利用 | ⑦環境修復(土壌・地下水汚染) | |
| ⑧技術開発(解体・除染(クリアランスを含む)) | ⑨廃止措置資金 | | |

（２）理解活動と地域の活性化

- | | |
|------------|---------------------|
| ①地元企業の参画状況 | ②利害関係者の理解活動と自治体の関わり |
| ②広報活動 | ④その他 |

6. スケジュール

『欧州における廃止措置と解体物のクリアランス再利用調査団』
日程表 案

2024年10月5日（土）～10月13日（日） 9日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	10月5日 （土）	成田発	EK 319	20：00頃 22:30	成田空港にて集合 成田空港発	
2	10月6日 （日）	ストックホルム着		4:10 8:40 13:45	ドバイ空港 着 ドバイ空港 発 ストックホルム・アーランダ国際空港 着 ストックホルム 泊	機内食 夕 ○
3	10月7日 （月）	ストックホルム	専用車		Cyclife スウェーデン 訪問 ストックホルム 泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	10月8日 （火）	ストックホルム 発 マンチェスターへ	SK 2547	8:10 9:40	ストックホルム・アーランダ国際空港 発 マンチェスター空港 着 マンチェスター 泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	10月9日 （水）	マンチェスター	専用車		Cyclife ワーキントン 訪問 マンチェスター 泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	10月10日 （木）	マンチェスター発 チューリッヒへ	LX 391	8:50 11:50	マンチェスター空港 発 チューリッヒ・クローテン国際空港 着 チューリッヒ 泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	10月11日 （金）	チューリッヒ	専用車		フェッセンハイム発電所 訪問 チューリッヒ 泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
8	10月12日 （土）	チューリッヒ発 ドバイ経由 成田着	EK 88	15:25 23:45	自由時間 チューリッヒ・クローテン国際空港 発 ドバイ空港 着	朝 ○ 昼 × 機内食
9	10月13日 （日）		EK 318	2:40 17:35	ドバイ空港 発 成田国際空港 着	

* 上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

7. 訪問先及び概要：

* 訪問先は都合により変更する場合もございますので、予めご了承下さい。

(1) レベルの低い放射性廃棄物処理(クリアランス)と再利用関連

① Cyclifeスウェーデンの金属溶融施設

旧スタズヴィック社の処理施設を現在Cyclife社が所有している。欧州の近隣諸国の放射性解体物(鉄材、アルミ材)を溶融処理してクリアランス物として再利用している。

② Cyclife英国(ワーキントン)の金属リサイクル施設

NDAの放射性解体物(主に、セラフィールド)を分別後に熱切断や冷間切断により細断し、スチールショットブラストなどによりクリアランス物として再利用を行う。年間約1,000トンの放射性廃棄物を処理し、約95%がリサイクルされている。

(2) 廃止措置段階の原子力発電所

フェッセンハイム原子力発電所 Fessenheim 1, 2号炉 (880MW)

パリの東南東約400kmのところにあるフェッセンハイム 1 & 2 号炉は加圧水型原子力発電所(PWR)で43年間の運転期間を経て2020年に運転を停止し、一次系の解体前除染やタービン・発電機などの機器の解体が行われている。フランスがクリアランス制度を導入後、最初に廃止措置を迎える発電所である。

8. 募集人員：15名

9. 参加費：¥1,800,000－(税別・お申込金 50万円が含まれております)

※催行人数10名に満たない場合及び日程その他変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承下さい。

10. 通訳・プロジェクトマネージャー：現地同行

11. ホテル：1人部屋

12. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

13. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

14. 申込方法：最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、 **2024年8月8日(木)までに**、E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) でお申込み下さい。 すぐに担当者よりご連絡申し上げます。

1. 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー (パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください)
2. 名刺のコピー (和文と英文)
3. メンバースト作成用 顔写真のデータ (パスポート取得時のものでも結構です)

15. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。 期日までにお振込みくださいますよう、お願い申し上げます。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟 (電話03-6229-1946) までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.wkx21c.org>

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、査証取得手続きに関する費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：**お申込金 50万円**及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料10万円
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2024年4月末日時点の運賃及び8名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

参加における注意事項

I) 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。
所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- a. 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- b. 飛行機が遅延した際の費用保障
- c. 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先

II) パスポートとビザについて

訪問国がシェンゲン協定加盟国の場合、加盟国に入国する際に必要なパスポートの条件は以下となります。

- a. パスポートの残存期間が出国予定日から3カ月以上
- b. 未使用査証欄が2ページ以上

またシェンゲン協定では「直近180日間における滞在期間が、最長90日までの場合、入国時ビザは必要ない」とされています。
訪問国が米国の場合、滞在期間に加えて6か月以上のパスポート残存有効期間が求められます。またビザあるいはビザ免除プログラムへの登録が必要となります。

その他の国の事情や詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。
また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆 斎藤 信男	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
理事	松井 一秋 井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 内藤 香 林道 寛	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問 一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人滋慶学園 総長 Ph.D. 元 公益財団法人核物質管理センター理事長 元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『欧州における廃止措置と解体物のクリアランス再利用調査団』

参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟（JEF） 行

フリガナ					
会社名・団体名					
所属名/役職名					
フリガナ					
参加者氏名		生年月日		西暦 年 月 日	
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)			
E-mail		携帯電話番号			
勤務先	ご住所	〒 -			
	電話番号			FAX番号	
ご自宅	ご住所	〒 -			
	電話番号				
フリガナ					
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方		印			
所属名/役職名					
電話番号/E-mail					
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）					
① はい	旅券番号：		有効期限	西暦 年 月 日	
② いいえ	取得予定日		2024 年 月 日		
強いアレルギーなど ございますか	なし ・ あり （ ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください				
語学力	英語について (問題あり・なし、TOEFL点数など		英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ (		
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）				

個人情報保護方針
旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的
お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供
下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア.ご本人の同意がある場合
イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限の情報を開示・提供する場合。
ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟
<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL：03-6229-1950
FAX：03-6229-1940